

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	岐阜大学
拠点のプログラム名称	衛星生態学創生拠点
中核となる専攻等名	流域圏科学研究センター
事業推進担当者	(リーダー) 小泉博 教授 外5名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>地球温暖化など環境問題解決のため、世界各地で生態プロセス観測やリモートセンシングなど多様な手法で環境計測・予測が行われている。これらの研究結果は統合され、一定の結論に達すべきものであるが、各手法は時空間スケールが大きく異なるため解析結果は大きく乖離し、相互に検証することが困難である。しかし、近年の衛星センサーの発達による情報量の飛躍的増大と時空間分解能の向上は、リモートセンシング解析を生態プロセス観測と対比させ本質的意味の検証と実証を可能とする段階に達した。本研究教育拠点では、早急に生態プロセス研究とリモートセンシング解析との融合、統合を図り、その結果を基に気象観測・モデリング解析を加え地域・地球スケールの環境問題を包括的にとらえる総合的・実践的な科学、「衛星生態学」の創生を目指す。これにより、異質の機能と時空間スケールをもつ系が連続して分布するような流域圏や地域生態系など、これまで解析が困難であった複合生態系の統一的な理解を進める。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小人数ではあるが、これまでの実績を踏まえて、生態プロセス研究とリモートセンシング解析との融合、統合により地域・地球スケールの環境問題を包括的にとらえる新しい学問領域の開拓への意欲が認められる。また、学長を始めとする大学側からの支援も期待できる。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>流域圏について、衛星リモートセンシング技術と生態プロセス観測を対比させた生態系モデルを構築し地球規模の問題を包括的に捉えようとする点で、マクロとミクロをつなぐ革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	